

# 自己点検・評価

公表用（自由記述省略）

## 【評価方法】

- A : 達成できている
- B : ほぼ達成できているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。
- C : 達成に向けて取り組んでいる。
- D : 達成できていない、あるいは、必要性に気づいていなかった。
- F : 分からない・該当する部分がなく評価できない。

日本語教育機関：国際日本語カレッジ

実施日：2026年4月

実施者：国際日本語カレッジ

自己点検・自己評価委員会

点検・評価項目	評価
---------	----

## 認定日本語教育機関の目的及び目標の達成状況に関すること

### 1. 教育理念・目的・教育目標

<p><b>【教育理念】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本語教育を通じて、多文化共生社会で生き抜くために必要な「人間力」を育み、将来、国際社会をリードできる人材を育成する。</li> <li>(2) 地域住民との積極的な交流を通じて相互理解を深め、地域社会の国際化促進に貢献する。</li> </ul> <p><b>【目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本語教育の実践による生徒の日本語力の向上を図る。</li> <li>(2) 日本での進学・就職を見据え、日本で生活する上で必要なルールやマナーを身に付けるとともに、自立心と他者を尊重する心を育てる。</li> <li>(3) 地域社会及び日本の国際化促進に貢献し、日本の高齢化社会に寄与することができる人材を育てる。</li> </ul> <p><b>【教育目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 卒業までの最終目標はB2レベルとし、日本の大学または専門学校に進学するために必要な総合的な日本語力を育成する。</li> <li>(2) 周囲の助けを借りながら、自ら考え、行動し、将来に真剣に向き合う姿勢を育てる。</li> </ul>	
1-1 上記の教育理念、目的及び教育目標について認識している。	A
1-2 上記の教育理念、目的及び教育目標について、教職員・生徒に周知が行われている。	B
1-3 教育理念に基づく教育が行われている。	A
自由記述	

## 教員及び職員の組織運営に関すること

### 2. 日本語教育機関の運営

2-1 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告知基準に適合している。	A
2-2 組織の短期及び中長期の運営方針と経営目標が、教職員間で周知されている。	B
2-3 意思決定機能が組織的に行われ、効率的に機能している。	A
2-4 管理、運営のための諸規程が整備され、規程に基づいた運営が行われている。	A
2-5 予算編成が適切になされ、明確なルールにより執行している。	A
2-6 人事・労務管理の規定が明確化され、教職員に周知されている。	B
2-7 外部からの情報収集が効率的に行われ、教職員に共有する仕組みが整っている。	A
自由記述	

### 3. 教育活動を担う教職員

3-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A
3-2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	A
3-3 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	A
3-4 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組みをしている。	B
3-5 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	C
3-6 教員及び職員の評価を適切に行っている。	B
自由記述	

点検・評価項目		評価
施設及び設備に関すること		
4. 教育環境(施設・設備)		
4-1	教室には十分な照度があり、換気がなされているとともに、教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	A
4-2	授業時間外に自習できる部屋を確保し、適切に使用されている。	B
4-3	教育内容及び生徒数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A
4-4	視聴覚教材や電子副教材等を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	A
4-5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A
4-6	同時に授業を受ける生徒数に応じた数のトイレを設置している。	A
4-7	法令上必要な設備(避難器具、消火器、誘導灯等)を備えている。	A
4-8	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A
4-9	バリアフリー対策を施している。	C
自由記述		
日本語教育課程の編成及び実施に関すること		
5. 入学者の募集と選考		
5-1	教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている。	A
5-2	職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
5-3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ正確な学校情報、求める生徒像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	B
5-4	海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	A
5-5	入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っている。	A
5-6	入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠資料で確認している。	A
5-7	学校関係者(職員等)が志願者の面接などの調査を行うよう努めているか。	A
5-8	入学志願者の学習能力、学習意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が入学志願者のニーズと合致することを確認している。	A
5-9	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	A
自由記述		
6. 教育活動の計画		
6-1	理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	A
6-2	理念と教育目標達成のためのカリキュラムを編成している。	B
6-3	生徒の熟達度を、特定の試験の成績だけで判定するのではなく、「日本語教育の参照枠」の枠組みの中に位置づけて理解する試みを行っている。	C
6-4	理念及び教育目標に適合した教材が選択、または制作されている。	B
6-5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	A
6-6	教育内容、教育活動の計画及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	A
6-7	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置を行っている。	A
自由記述		

点検・評価項目		評価
<b>7. 教育活動の実施</b>		
7-1	授業開始までに生徒の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A
7-2	教員に対して、担当するクラスの生徒の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	A
7-3	生徒に対して当該学期の学習内容及び学習予定表を開示している。	B
7-4	開示されたシラバスによって授業を行っている。	B
7-5	授業記録及び出席簿を備え、正確に記録している。また、教育活動の振り返りと改善に活かせるような形で授業記録を残し、記録内容を関係教員間で共有している。	A
自由記述		
<b>卒業の認定及び学習の成果に関すること</b>		
<b>8. 成績判定及び卒業認定</b>		
8-1	成績の判定基準及び方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準及び方法が開示されている。	A
8-2	成績判定結果を的確に生徒に伝えている。	A
8-3	卒業又は修了の認定基準が明確に定められ、適切に判定を行っている。また認定基準が開示されている。	A
自由記述		
<b>9. 教育成果</b>		
9-1	理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	A
9-2	生徒の自己評価について把握している。	C
9-3	入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A
9-4	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A
9-5	卒業又は修了後の進路を適切に把握し、管理を行っている。	A
9-6	卒業生及び修了生の状況を把握するための取組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	A
自由記述		
<b>生徒への学习上及び生活上の支援に関すること</b>		
<b>10. 学習支援</b>		
10-1	個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。	A
10-2	特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。	B
自由記述		
<b>11. 進路指導</b>		
11-1	進路指導担当者を特定し、生徒に周知している。	B
11-2	生徒の希望する進路を把握、管理している。	A
11-3	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、生徒が閲覧できる状態にある。	A
11-4	入学時から進路目的に合わせた進路指導スケジュールが組まれ、適切に指導がされている。	A
11-5	生徒の進路指導記録が適切に管理されている。	A
11-6	卒業生の受験活動など進路に関する活動記録が適切に管理され、在校生の進路指導に活用されている。	B
自由記述		

点検・評価項目		評価
<b>12. 生活支援</b>		
12-1	生徒支援計画を策定し、支援体制を整備している。	A
12-2	生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、生活指導担当者が誰であるか、教職員及び生徒に周知している。	A
12-3	留學生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的実施している。	A
12-4	住宅支援を行っている。	A
12-5	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A
12-6	健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A
12-7	生徒全員が国民健康保険に加入し、併せて留學生保険に加入している。	B
12-8	重篤な疾病や傷害があった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定め、教職員に周知している。	A
12-9	交通事故等の相談体制を整備している。	A
12-10	危機管理体制を整備している。	A
12-11	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め避難訓練を定期的実施している。	A
12-12	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び生徒に周知している。	B
自由記述		
<b>13. 入国・在留に関する指導及び支援</b>		
13-1	入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A
13-2	担当者は、研修受講等により最新、かつ、適切な情報取得を継続的に行っている。	A
13-3	出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している。	A
13-4	入管法上の留意点について生徒への伝達、指導等を定期的に行っている。	A
13-5	在留に関する生徒の最新情報を正確に把握している。	A
13-6	在留上、問題のある生徒への個別指導を行っている。	A
13-7	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	A
13-8	不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	B
自由記述		
<b>教育活動等の改善を継続的に行う仕組みに関すること</b>		
<b>14. 教職員育成</b>		
14-1	教育活動及び生徒の支援体制の改善を継続的に行う仕組みが整っている。	A
14-2	授業評価を定期的実施している。	B
14-3	授業評価の結果が分析され、課題を発見し、教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	B
14-4	新任教員、初任教員を対象に研修を実施している。	A
14-5	経験を問わず、全教職員を対象に振り返りの機会を設け、情報の共有や成果の確認を行っている。	B
14-6	他機関の実施する研修会等への参加を促している。	A
自由記述		
<b>15. 教職員評価</b>		
15-1	教職員評価のための体制、方法及び基準を定めている。	B
15-2	上位者からの評価だけでなく、自己評価、相互評価、生徒からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。	B
15-3	評価結果を的確に教職員に伝えている。	B
15-4	評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	A
自由記述		

点検・評価項目		評価
財務に関すること		
16. 財務		
16-1 財務状況は、中長期的に安定している。		A
16-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。		A
16-3 適正な会計監査が実施されている。		A
16-4 入学者の募集や生徒の入学手続の支援等を行う者に対して支払った仲介手数料は適正である。		A
自由記述		
17. 法令遵守		
17-1 法令遵守に関する担当者を特定し、周知している。		B
17-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。		B
17-3 個人情報保護のための対策をとっている。		A
17-4 出入国在留管理局、その他関係官公庁への届出、報告を遅滞なく行っている。		A
自由記述		
18. 情報公開		
18-1 機関の設置者、教育内容、定員、連絡等の情報をホームページ等で公開している。		A
18-2 募集及び納付金に関する情報を公開している。		A
18-3 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。		B
18-4 情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。		A
18-5 公開されている情報は常に最新のものに更新されている。		A
自由記述		
その他		
19. 地域貢献・社会貢献		
19-1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。		B
19-2 生徒がボランティアや地域活動への参加、地域の人々との交流活動を行っており、学校として生徒の活動の支援を行っている。		A
自由記述		